今使える!!遺伝子解析の手法

ゲノム解析やゲノム編集の手法が急速に進展し、身近なものになりつつある一方で、ゲノムや遺伝子解析の手法においてマイクロアレイと次世代シーケンサを使いこなすべき時代が到来しています。今使える遺伝子解析の手法について広くご紹介致します。

日時： **8月3日（水）**

16:00～17:30

場所：九州大学 医学部　コラボステーションⅠ　共同セミナー室

Gene Expression

ChIP-Seq

miRNA

RNA-Seq

Epigenetics

マイクロアレイ？ NGS？　どちらを選びますか？

（株式会社セルイノベーター）

マイクロアレイとNGS、どちらで解析するか悩まれる事がありませんか？両解析の特徴を把握して使い分けていただくことで、より効果的な解析を行っていただくことが可能になります。網羅的な解析の使い分けポイントをご紹介いたします。

お勧めの網羅的な遺伝子解析手法

（アジレント・テクノロジー株式会社）

網羅的に遺伝子を解析する際は、目的に応じて適切な手法を選択する必要があります。今回はトランスクリプトーム解析を中心に、マイクロアレイとNGS、それぞれのデータの特徴や適した実験系を論文例を交えて紹介いたします。

Agilent Technologies

【お問い合わせ先】
アジレント・テクノロジー株式会社
尾崎　正和
E-mail：masakazu_ozaki@agilent.com

正晃株式会社　福岡第一営業所
E-mail： fukuoka1@seikonet.jp